

IXPE特集 (2)	ブラックホール降着円盤とパルサーのX線偏光： IXPE衛星の成果と将来展望	川島朋尚・木坂将大・當真賢二	348
	IXPE衛星が観測したブラックホール候補天体	管 佑真・郡司修一・水野恒史・高橋弘充	360
シリーズ：海外の研究室から	辿り着いた場所が米国東海岸	井上 諭	370
シリーズ：2040年代のスペース天文学へ	2040年代のスペース宇宙線観測の構想 —ゴッズアイ計画—	藤井俊博	374
雑 報	APRIM2023開催概要報告	渡部潤一	382
	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書 <i>The 14th Asteroids, Comets, Meteors Conference (ACM 2023)</i>	紅山 仁	388
	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書 <i>International Conference on Resolving Galaxy Ecosystems Across All Scales</i>	山口未沙	389
書 評	すべての人の天文学	富田晃彦	392
年 会	日本天文学会2024年秋季年会のお知らせ	年会実行委員会	393
寄贈図書リスト			400
月報だより			400

【表紙画像説明】

IXPE衛星により「はくちょう座 X-1」のX線偏光観測が行われた。「はくちょう座 X-1」は地球から6,000光年以上離れた連星であり、空想図（表紙）が示すように、ブラックホール（中央の黒丸内にある）の周りに、伴星（手前の大きな星）から物質が降り積もって降着円盤が形成され、さらに希薄な高温プラズマ（コロナ）がブラックホールおよび円盤の周りを囲むと考えられている。現実的には撮像は不可能だが、偏光観測によりブラックホールの回転や円盤・コロナの幾何構造を調べることができる。詳しくは今月号のIXPE特集の記事（観測および理論）を参照されたい。(c) Credits: John Paice